

令和5年度

熱海市社会福祉協議会

事業報告

## 熱海市地域共生プラン（令和3年度～令和8年度）

第5次熱海市地域福祉計画（熱海市）

第5次地域福祉活動計画（熱海市社会福祉協議会）

### 基本理念

「安心して子どもを産み育てられる」、  
「あたまっ子達が豊かなところを育みながら育っていく」、  
「自分らしく働き、学び、活躍し続けられる」、  
「障がいがあってもあるいは高齢になって介護が必要になっても安心して暮らせる」など、  
障がいにわたって穏やかで温かなところに包まれ暮らせる、

「あつたまる熱海（あつたかい+まるごと）」

の推進を基本理念とします。

大 柱	内 容
<b>基本目標 1</b> お互いさまから始まる思いやりのところ・ひとづくり	「困ったときはお互いさま」という関係性をつくり、お互いの存在を認め合いながら、人と人とのつながりを深めていくような、思いやりのところ・ひとづくりは地域福祉の礎となるものです。そんな熱海らしい「ひとづくり」を目指します。
<b>基本目標 2</b> 共に生きる地域づくり	地域住民が地域の課題を共有し、いろいろな活動に興味関心を持ち自分のことから地域づくりに参画するなど、地域を支える力を強化することが大切です。目指すのは、人が織り成す地域に変化と、地域全体で支える力の再構築です。
<b>基本目標 1</b> みんなにやさしいしくみづくり	地域には、目に見えていない課題があります。声に出せない事情があります。さまざまな理由で支援につながらない人たちがいます。このような課題の解決に向け、市民、事業者、市、社会福祉協議会の役割を再編成し、意識改革と改善を繰り返しながら「みんなにやさしいしくみづくり」をじっくりと進め、地域に根付かせていきます。

## 施策の体系

基本目標 (大柱)	施策の方向性 (中柱)	具 体 施 策 (小柱)
1 お互いさまから始まる思いやりのこころ・ひとづくり	(1) 思いやりのこころづくり	①地域福祉を支える意識の醸成 ②お互いを知る機会の拡充
	(2) 地域福祉を担うひとづくり	①「つながり」を生む人材の育成
2 共に生きる地域づくり	(1) 地域活動への参加・交流の促進	①「つながり」を生むためのきっかけづくり
	(2) 多様な主体による地域活動の促進	①町内会・ボランティア・NPOなどによる地域活動の推進 ②民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくり ③企業などによる地域貢献活動との連携強化 ④社会福祉法人の公益的取組の推進 ⑤災害時に備えた地域の連携
3 みんなにやさしいしくみづくり	(1) 包括的に受け止めるしくみづくり	①重層的支援体制整備事業の推進 ②福祉サービスの提供体制や質の充実
	(2) 自立につなぐセーフティネットの整備	①生活困窮者の自立支援対策の充実 ②社会的孤立の防止 ③地域再犯防止の推進 ④デジタルデバイド(情報格差)の解消
	(3) 権利擁護の推進	①成年後見制度の利用促進 (成年後見制度利用促進基本計画) ②日常生活自立支援事業の促進 ③高齢者、障がい者、児童への虐待やDV被害防止対策の推進 ④消費者被害などの防止に向けた取組の推進

# 主 要 事 業

## 基本目標 I (大柱)

お互いさまから始まる思いやりのこころ・ひとづくり

### (1) 思いやりのこころづくり (中柱)

#### ① 地域福祉を支える意識の醸成 (小柱)

#### 1 社協だよりの発行

令和4年7月と令和5年1月に全戸配布しました。フルカラー、見開きのページにし見やすいように変更いたしました。

#### 2 ホームページの充実

サイトリニューアルに向けた準備をしました。現行のサイトマップを確認し、時代の変化に合わせたスマートフォン対応機能の追加やカテゴリ分けの変更を検討しました。

#### 3 福祉教育の推進

- (1) 令和4年6月に熱海高校総合学習「熱海ラボ」への協力を行いました。
- (2) 学校教育課と連携を取り、令和5年6月に計1回市内1つの小学校へ4年生を対象に福祉出前講座を開催し児童20名の参加がありました。
- (3) 6月に社会科見学への対応をしました。
- (4) 手話サークルいでゆの会の協力をいただき、会員の方を小学校へ派遣させていただきました。
- (5) 高齢者疑似体験セットの貸出
- (6) 8月にサマーショートボランティアを4年ぶりに開催しました。
- (7) 熱海高校の学生と熱海市の福祉の現状についての意見交換を行いました。
- (8) 職員の向上のため、静岡県社協主催の「地域共生社会の実現に向けた地域福祉教育の推進」研修へ出席いたしました。
- (9) 令和5年8月～9月にかけて静岡福祉大学の学生を社会福祉士養成の実習の受け入れを行いました。

## 基本目標 I (大柱) (1) 思いやりのこころづくり (中柱)

### ② お互いを知る機会の拡充 (小柱)

#### 1 福祉まつりの開催

令和5年12月16日(土)、南熱海マリンホールで、4年ぶりの開催となりました。(令和2～4年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

実行委員会が中心となって25団体が参加し、新たにキッチンカーや熱海警察署等も参加・協力いただきました。

## 2 社会福祉大会の開催

令和5年10月30日（火）に開催し、地域福祉などに貢献した個人・団体に表彰状・感謝状を贈りました。

熱海市社会福祉協議会会長表彰：個人42名・団体1団体

熱海市協会福祉協議会感謝状：2団体・1個人

静岡県共同募金会会長感謝状：2団体

## 基本目標Ⅰ（大柱）（2）地域福祉を担うひとづくり（中柱）

### ①「つながり」を生む人材の育成（小柱）

## 1 ボランティア講座の開催・スキルアップに向けた支援

移動支援に対して、送迎ボランティア講座を開催。修了者に実際の移動支援に対する実証実験を行いました。

## 基本目標2（大柱）

共に生きる地域づくり

### （1）地域活動への参加・交流の促進（中柱）

#### ①「つながり」を生むためのきっかけづくり（小柱）

## 1 ボランティア、NPO参加のきっかけづくり

伊豆山ささえ逢センターの活動、移動支援の活動、地域の有償ボランティア等活動場所の提供を行いました。

## 2 老人クラブ参加へのきっかけづくり

（1）グランドゴルフ大会を2回開催しました。

（2）市子連と合同で初めてペタボード大会を開催しました。

（3）各地域の単位クラブの定期的な活動を支援するため、塗り絵を観めたり、課題解決に向けた支援を行いました。

## 3 地域活動拠点の充実

### （1）総合支援事業通所型サービス

閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくり・健康増進・仲間づくりの場を提供する目的で、毎週火曜日、総合福祉センターで当会サロンスタッフが実施しています。

○総合支援事業通所サービスA型 利用者 394人

（介護保険の通所介護に相当するものと、それ以外の多様なサービスからなり、介護予防に資する事業で、熱海市から当会に事業委託）

(2) フレッシュサロン事業

「地域での支え合い」の展開を図るため、町内会等の協力を得て、介護予防運動で健康維持等コミュニケーションづくりを進める上での基本事業と位置づけ実施しました。

開催地区 (開催日時)	利用者数 (延べ人数)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
網代 (毎週水曜日)	361	472	484
南熱海 (毎週木曜日)	425	565	554
中野 (毎週木曜日)	295	348	260
熱海 (毎週木曜日午前)	196	374	136
熱海 (毎週木曜日午後)	215	255	116
熱海 (毎週金曜日午前)	239	470	582
熱海 (毎週金曜日午後)	0	0	0
伊豆山 (毎週火曜日)	241	371	451
泉 (毎週火曜日)	243	444	485
合計	2,215	3,299	3,070

(3) ふれあい・いきいきサロン

高齢者の心身の健康維持、生きがいづくり、引きこもりの防止等を目的に、住まいのより近くで気軽に参加できる地域サロンを実施しました。

開催地区 (開催日時)	利用者数 (延べ人数)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上多賀いきいきサロン (毎週金曜日)	650	777	1,056
つつじが丘サロン (第2・4木曜日)	休 会	休 会	休 会
和田木ふれあいサロン (毎週月曜日)	960	936	768
下多賀ふれあいサロン (第2・4木曜日)	143	192	192
あおばサロン(第2金・第 4月曜日)	0	230	230
伊豆山浜サロン (第3月曜日)	83	240	153
サロン桃々会 (第3火曜日)	15	12	休止
網代ふれあいサロン (毎週月曜日)	144	178	365
西熱海109会 (毎週火曜日)	0	0	468
コミュニティースペースひまわり (毎週水曜日)	236	380	456
中野ふれあいいきいき サロン(第2・第4月曜日)	126	90	188
中野ふれあいいきいきサ ロン(第2・第4月曜日)	38	58	75
ファミリーサロン熱海伊豆山子 ども食堂(第1.3日曜日)	116	0	840



開催地区 (開催日時)	利用者数 (延べ人数)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
湯楽クラブ (毎週木曜日)			195
ホームー体操サロン (毎週水曜日)			960
熱海健康音楽サロン (第4金曜日)			226
グランベルデ (毎週水曜日)			352
泉多芸クラブ (毎週土曜日)	154	344	874
チャチャほんく(泉) (第4木曜日) 5年度 まで休会	0	0	0
明日のためのワッサー (毎週金曜日)	200	364	0
上多賀体操サロン (毎週月曜)		650	620
桜木町いきいきサロン 6年度より廃止		316	317
合 計	2,805	3,953	7,257

基本目標 2 (大柱) (2) 多様な主体による地域活動促進 (中柱)

① 町内会・ボランティア・NPOなどによる地域活動の推進

1 生活支援体制整備事業の推進

(1) 協議体の開催

泉・伊豆山地区、熱海地区、南熱海地区の3地域でそれぞれ協議体を開催し、地域課題などの話し合いをいたしました。また、熱海地区の西部地区地域づくり事務局と、地域の問題点や地域の在り方などの会議に出席し、情報共有や意識の統一を行いました。(約25回参加)

(2) 送迎ボランティア養成

移動支援に対する送迎ボランティア養成として、全国移動サービスネットワーク・マジオドライバースクールの協力を得て、講座を春・秋に各2回開催し、約34名の参加があり、そのうち修了者は8名でした。

(3) 送迎サービス

令和5年度は新しいサービスとして、サロン活動に参加している又は参加していた方の中で歩行に不安をかかえる方に、サロン会場までの送迎サービスを実施しました。

2 有償ボランティア「こつこつ」の拡充

利用会員(依頼者)と協力会員による会員制で運営するボランティア活動「こつこつ」を、当会の自主事業として拡充していきます。

○利用登録料金 年500円 ○利用料金 15分単位 150円

(1) 利用実績

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員(依頼者)	34人	38人	57人
協力会員(登録者)	58人	66人	69人
サービス提供稼働人数	10人	102人	23人
延べ活動人数	358人	340人	400人
延べ活動時間	318時間	285時間	507時間

(2) 地区別会員数

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利 用 会 員	泉・伊豆山地区	3人	3人	7人
	中央地区	19人	27人	41人
	南熱海地区	12人	8人	9人
	計	34人	38人	57人
協 力 会 員	泉・伊豆山地区	0人	0人	1人
	中央地区	6人	7人	16人
	南熱海地区	4人	3人	6人
	計	10人	10人	23人

基本目標2（大柱）（2）多様な主体による地域活動促進（中柱）

③企業などによる地域貢献活動との連携強化

1 企業の地域コミュニティへの参加支援

地元の自動車学校に送迎ボランティア養成講座開催を依頼し、養成しました。受講生により、送迎ボランティア実証実験を行い、今年度も継続中です。

2 障がいのある人を含めた地域内雇用の支援

就労準備支援事業所が毎週金曜日に駐在しており、30件の相談を受け一般就労22件の紹介を行い、社協としても約28件就労支援を行いました。

3 フードバンク事業の周知

社協だより等にも掲載し、フードバンクの活用及び協力拡充を実施しました。

○利用実績 65件

○提供食材を募集するフードドライブを2回（8月・1月）実施し、食材の提供を受けました。

基本目標 2 (大柱) (2) 多様な主体による地域活動促進 (中柱)

④社会福祉法人の公益的取組の推進

1 法人のネットワーク化による取組

気軽に相談できる場所として、各法人に福祉何でも相談窓口を設置し活動を行っています。自法人で解決できない相談は社協へつなぎ問題解決に心がけています。

また、1月14日(日)に開催された、ささえ逢い交流会を開催への協力(施設送迎バスの提供)を行いました。

基本目標 2 (大柱) (2) 多様な主体による地域活動促進 (中柱)

⑤災害時に備えた地域の連携

1 災害ボランティア本部の設置・運営

熱海市が毎年実施する総合防災訓練において、災害ボランティア本部の設置・運営訓練を熱海市と共同で初めて実施しました。

基本目標 3 (大柱)

みんなにやさしいひとづくり

(1) 包括的に受け止めるしくみづくり (中柱)

①重層的支援体制整備事業の推進 (小柱)

1 重層的支援体制整備事業

(1) 重層的支援体制整備事業の導入

地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律により改正された社会福祉法において、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、市町村において、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた3つの支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」を実施しています。

令和3年度～令和4年度

移行準備

令和5年度

制度開始 (導入：県下2番目)

(2) 多機関協働事業

重層的支援体制整備事業の中核機関であり、包括的相談支援を担う相談支援機関（地域包括支援センター、障がい者相談支援事業、子供関係利用者支援事業、生活困窮者自立支援事業など）の抱える課題をアセスメントし、各々の役割分担や支援の方向性を整理する役割をもちます。

(3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

複合的な課題を抱えているために、自ら支援を求めることができない人などに支援を届ける役割をもつ

(4) 参加支援事業

既存制度では対応できない個別性の高いニーズに合わせた多様な社会参加の実現に向けた支援を行う役割をもちます。

市内求人状況と生活困窮者の就労支援について、熱海市商工会議所に協力依頼や情報交換を行いました。

(5) 各機関との連携強化

熱海市行政、包括的相談支援事業所、就労支援事業所、障がいを含む各福祉事業所、民生委員、商工会議所、一般企業などの各機関と、事業内容に関する意識統一や、連携強化・連携方法などの確認作業を行いました。

令和5年度実績

区 分	多機関協働	アウトリーチ等	参加支援
相談対応（延べ）	22件	47件	5件
相談受付（実人員）	8人	5人	1人
関係機関連絡調整	48件	45件	16件
支援プラン作成	7件	5件	1件
支援会議開催	6回	5回	3回
その他会議	42人	22人	31人
進捗管理（5年度末）	7人	5人	1人

基本目標3（大柱）（1）包括的に受け止めるしくみづくり（中柱）

② 福祉サービスの提供体制や質の充実（小柱）

1 福祉サービスの見える化

社協パンフレットを印刷発行し、紙媒体での広報・サービスの種類、説明を行いました。

また、社会福祉協議会の概要や活動内容も紹介いたしました。

基本目標3（大柱）（2）自立につなぐセーフティネットの整備（中柱）

①生活困窮者の自立支援対策の充実（小柱）

1 生活福祉資金貸付

(1) 貸付実績

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
生活福祉資金貸付	28件	4,368千円	1件	1,641千円	1件	370千円
緊急小口資金貸付	5件	27千円	17件	894千円	17件	1,049千円
合 計	33件	4,395千円	18件	2,533千円	18件	1,419千円

(2) 償還実績

区 分	累計貸付件数	累計貸付額	未償還額
令和5年度末現在	87件	30,337千円	21,115千円

2 新型コロナウイルスに関連する特例貸付

○貸付期間 令和2年3月12日～令和4年9月30日

貸付種別	申請件数	決定件数	貸付金額	未償還額
生活福祉資金緊急特例小口貸付金	861件	461件	75,600千円	52,256千円
生活福祉資金総合支援資金貸付	625件	400件	172,713千円	164,161千円
合 計	1,486件	861件	248,313千円	216,417千円

### 3 生活困窮者自立支援事業

#### (1) 相談件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規相談件数	304件	142件	135件
支援決定・確認件数	155件	96件	70件

#### (2) 支援内容

支 援 種 別	令和3年度	令和4年度	令和5年度
家計改善支援	72件	40件	35件
就労準備支援	71件	58件	43件
認定就労訓練	4件	7件	3件
自立相談支援事業就労支援	89件	54件	28件
住居確保給付金	31件	17件	4件

### 基本目標3（大柱） (2) 自立につなぐセーフティネットの整備（中柱） ②社会的孤立の防止（小柱）

#### 1 地域の見守り体制の確保

「高齢者等地域見守りネットワーク実務者会議」に参加し、行政や見守りネットワーク協定者と意見交換、情報共有を行いました。

#### 2 ひきこもり・生きづらさへの支援

ひきこもり支援強化等に係るアドバイザーとして各市町等へ職員を講師として派遣し、また社会参加への足掛かりとして有償ボランティアの活動を行いました。

基本目標3（大柱） (3) 権利擁護の推進（中柱）

① 成年後見制度の利用促進（小柱）

1 権利擁護支援の体制整備

成年後見センター（中核機関）として、相談・支援を積極的に行い、体制の強化を図りました。

また、令和4年12月に熱海市で初めての市民後見人が誕生し、その後見監督業務を行っています。

○成年後見制度に関する相談及び利用支援実績

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規相談件数	22件	17件	18件
延べ支援回数	49回	63回	120回
成約につながった件数	4件	2件	4件
権利擁護相談回数・利用者	5回・22人	6回・23人	6回・18人

2 成年後見制度利用促進機能の充実

市民後見人養成講座を開催し、市民の権利擁護意識の向上に努めました。また、養成講座修了者の内、当会の法人後見支援員、日常生活自立支援事業の生活支援員として活動していただいております。

○市民後見人養成講座

期・年	申込者	修了者	内法人後見支援員	内日常生活支援員	
				雇用契約	内稼働中
1期・H27年度	13人	8人	2人	6人	2人
2期・H29年度	14人	12人	—	2人	1人
3期・H30年度	7人	2人	—	3人	3人
4期・4年度	18人	8人	—	3人	3人
5期・5年度	13人	10人	—	4人	4人

○法人後見受任

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法人後見受任件数 ※熱海市では当会のみ	10件	13件	13件



○会議・研修会への参加

- ・静岡県成年後見制度利用促進協議会出席
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修参加
- ・社会福祉士会「ぱあとなあ静岡」の勉強会参加
- ・富士市マッチング会議視察

基本目標 3 (大柱) (3) 権利擁護の推進 (中柱)

② 日常生活自立支援事業の促進 (小柱)

1 日常生活自立支援事業

(1) 業務内容

福祉サービスの利用援助・日常の生活費や公共料金、医療費や税金などの支払い援助や年金証書、銀行印などの貴重品を預かり地域での生活が送れるように支援しました。地域包括ケアの一助にもなっております

令和5年度に、プリペイドカード的機能を持つ金銭管理システム(カエルビズ)を導入し、利用者の利便性の向上及び当会職員の支援負担の軽減を図りました。(県下市町社協の中で一番に導入：12人利用)

○契約・終了件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規契約件数	5件	3件	4件
契約終了件数	14件	16件	12件
現契約件数	50件	37件	29件

○相談・支援件数実績

契約対象者	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症高齢者	620件	432件	478件
知的障がい者	189件	157件	140件
精神障がい者	289件	273件	208件
その他	218件	128件	108件
合 計	1,316件	990件	934件

基本目標 2 (大柱) (2) 多様な主体による地域活動促進 (中柱)

④ 災害時に備えた地域の連携

1 伊豆山ささえ逢センター

令和 3 年 10 月 4 日に熱海市と共同運営で開設いたしました。

主に 6 名の相談員と熱海市の保健師、県社協アドバイザーとで支援を行いました。

(1) 支援概要

- |          |  |
|----------|--|
| ア 支援対象世帯 | 127 世帯   |
| イ 相談件数等  | 延 954 件 (訪問・電話・手紙・来所・その他)  |
| ウ 相談内容等  | 住居関係 (仮設) 10 件・住居関係 (再建) 259 件・<br>介護医療関係 214 件・家族関係 103 件・<br>就労関係 44 件・経済面 10 件・その他 536<br>その他は精神ケアにおける傾聴が主なもの。<br>また、64 件を他機関へつなぎました。<br>つなぎ先としては<br>・行政・地域高齢者相談センター・介護事業所<br>・子供、子育て支援機関・医療機関<br>・障害者支援事業所・就労機関などです。 |

(2) 活動場所

静岡県共同募金会の復興コミュニティ支援事業としての配分金を受け、元伊豆山農協を借り上げ、1 階を倉庫として 2 階を地域の方の居場所等として活用しております。

1 階の倉庫は 9 室で、事業を営んでいる被災者さんの事業に関する用具を収納しております。

2 階は、伊豆山地域復興支援の居場所として開放し、町内会・民生児童委員・NPO・企業・地域商店・病院・専門学校などの協力を得て、交流会や物資配布会、三町内会意見交換、健康体操、野菜販売、温灸体験、笑いヨガ、テーピング体感会などの活動を 34 回行いました。

参加人数は延べ 354 人でした。

# 介護保険法及び障害者総合支援法に基づく事業

## 1 居宅介護支援事業所

(1) ケアプラン作成数 1,805 人

上段は令和4年度

介護度	人数	介護度	人数	介護度	人数
要支援1	91	要介護1	495	要介護4	106
	65		594		159
要支援2	272	要介護2	634	要介護5	121
	206		597		104
事業対象者	0	要介護3	323	合計	1,697
	0		351		1,805

(2) 職員体制 主任介護支援専門員3名、介護支援専門員1名

(3) ケアプラン種別作成件数 ※( )内は前年度

・総合事業 月平均 5.7人 (7.6人)

・居宅支援 月平均 37.6人 (35.4人)

## 2 指定訪問介護事業

(1) 訪問介護実績

上段は令和4年度

区分	延数	実数
要介護1	690	112
	887	174
要介護2	1,283	182
	1,042	147
要介護3	384	61
	761	112
要介護4	41	10
	164	34
要介護5	385	57
	231	39
合計	2,783	422
	3,085	506

(2) 職員体制 訪問介護職員 3 名、登録ヘルパー 4 名

(3) 総合事業実績

上段は令和 4 年度

	延 数	実人数
総合事業	110	31
	83	24
要支援 1	296	67
	215	54
要支援 2	353	76
	360	69
合 計	766	174
	651	147

### 3 障害福祉サービス

ケアプランに基づき、利用者宅を訪問し介護サービスや行動援助を行いました。

種 別	延べ人数	実人数
居宅支援	2 3 7 人	2 2 5 人
同行援助	1 4 1 人	1 3 7 人
移動支援	5 3 人	3 6 人

### 4 要介護認定調査

熱海市及び他市から要介護認定調査を受託しました。

(1) 受託実績 ( ) 内は令和 4 年度

熱海市 178 件 (203 件)

他 市 101 件 (104 件)